

## 焼きおにぎり

十月のプールの枯葉つつきけり  
算盤の五玉の固し稻光  
立待や寿司屋の椅子に足ふらり  
天際の雲映す目や馬肥ゆる  
農場の杭に手袋刺されをり  
浮寝鳥ワルツのように流されて  
冬薔薇こここの家主は石油王  
なぞりたる絨毯の紋毛羽立ちて  
燕来る鉄通しし布に癖  
鶏に顔覚らるる二月かな  
野を焼けば茎黒黒と交わりぬ  
箸置に箸の翳りや長閑なる  
日に白むタペストリーやメロン食ふ  
白繭をシャーレに優しく戻したり  
焼きおにぎり売つてをりたり避暑の宿  
翡翠の背に星空を宿しけり